

■ 委員長報告概要 ■

	令和 6 年 12 月 定例会
	総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 74 号 山陽小野田市立小・中学校条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	令和 6 年度をもって赤崎小学校松原分校を廃止することに伴い、所要の改正を行うもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	少子化に伴う在籍児童の減少により効果的な教育活動の実践が困難になっていくため、また、松原分校に知的障害の特別支援学級があるために障害がある児童が地域の学校に通えないといった状況を解消し、インクルーシブ教育の観点から特別支援教育の充実を図るため、松原分校小学部を廃止する。 なお、松原分校中学部は令和 9 年度末で廃校する予定である。
討 論	賛成討論：インクルーシブ教育により、相互理解を育んで共に生きていく社会をつくっていく観点から賛成する。
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 75 号 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学中期目標（第 2 期）の変更について
概 要	同大学大学院工学研究科において、令和 7 年度以降の工学専攻修士課程の学生募集の停止及び令和 7 年 4 月 1 日からの機械工学専攻修士課程などの設置に伴い、中期目標中の教育研究組織を変更するもの なお、令和 6 年 8 月 5 日付けで山陽小野田市公立大学法人評価委員会から変更案が適当である旨の答申があった。
論点又は審査によって明らかになった事項など	工学専攻修士課程の学生募集を停止し、機械工学専攻修士課程、電気工学専攻修士課程及び応用化学専攻修士課程を設置する理由は、学士から修士への一貫教育という大学の方向性を明確にするためである。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 83 号 山陽小野田市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	令和 6 年度の人事院勧告に基づき、国に準じた職員給与の改定を実施するため、所要の改正を行うもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	人事院が従業員 50 人以上の民間企業 1 万社以上を調査した結果、民間の給与水準が公務員のを上回ったことから、その格差を解消するために行うもの。職員給与を平均で 1 人当たり 3%増額し、及び期末勤勉手当の支給率を 0.1 月分引き上げるもので、令和 6 年 4 月 1 日から適用する。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 84 号 山陽小野田市長等の給与に関する条例及び山陽小野田市病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	令和 6 年度の人事院勧告に準じた職員給与の改定と同様に、市長等について所要の改正を行うもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	期末手当を現行の年間 4.5 月から 0.1 月分引き上げ、年間 4.6 月とするもので、令和 6 年 12 月分から適用する。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 85 号 山陽小野田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	特別職の職員の給与に関する法律の改正内容を踏まえて、国に準じて所要の改正を行うもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	期末手当を現行の年間 3.4 月から 0.05 月分引き上げ、年間 3.45 月とするもので、令和 6 年 12 月分から適用する。 なお、議員の期末手当は国会議員のものに準じている。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

	令和 6 年 12 月定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 68 号 令和 6 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	<p>今回の補正は、人事異動に伴う人件費の調整、令和 5 年度決算の歳計剰余金の国民健康保険基金への積立てによるもので、歳入歳出それぞれ 9,589 万 3,000 円を追加し、予算総額を 72 億 3,605 万 4,000 円とするもの</p> <p>また、債務負担行為の補正として、国民健康保険システム改修事業を追加するもの</p>
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>令和 6 年度末の国民健康保険基金残高見込額は、6 億 7,916 万 4,169 円である。</p> <p>現行の個人ごとに付番した宛名番号により管理されている被保険者証番号を、標準準拠システムの標準仕様である世帯番号管理とする番号へ変更する必要がある。</p> <p>システム改修期間は、令和 7 年 1 月から令和 7 年 9 月末までを予定している。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 69 号 令和 6 年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第 2 回について）
概 要	今回の補正は、人件費の調整等によるもので、歳入歳出それぞれ 1 億 7,301 万 6,000 円を追加し、予算総額を 68 億 7,175 万 1,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	補正後の予算上の介護給付費準備基金残高見込額は 6 億 8,076 万 1,244 円である。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 70 号 令和 6 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 回）について
概 要	今回の補正は、人件費の調整等によるもので、歳入歳出それぞれ 1,774 万 2,000 円を減額し、予算総額を 13 億 6,943 万 3,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 73 号 山陽小野田市環境調査センター条例を廃止する条例の制定について
概 要	施設の老朽化により、維持管理が困難な状態にある環境調査センターについて、近年、市内の大気や水質に関する調査結果が良好な状態で推移していることから、大気や水質に関する調査内容等を精査した上で民間委託することとし、公共施設等総合管理計画に基づき令和 7 年 3 月 31 日をもって環境調査センターを廃止するもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	市で行っていた公害関係の調査で法律に求められているものは委託に出して環境整備に努めていること、また建物も老朽化していることから、環境調査センターでの調査研究の使命は終わったと認識し、廃止を決定したとのこと。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 78 号 令和 6 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 回）について
概 要	今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の調整として歳入歳出それぞれ 414 万 2,000 円を追加し、予算総額を 72 億 4,019 万 6,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 79 号 令和 6 年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算 (第 3 回) について
概 要	今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の調整として歳入歳出 それぞれ 1,185 万 5,000 円を追加し、予算総額を 68 億 8,360 万 6,000 円とするもの
論点又は審査に よって明らかにな った事項など	さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 80 号 令和 6 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補 正予算 (第 2 回) について
概 要	今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の調整として歳入歳出 それぞれ 43 万 6,000 円を追加し、予算総額を 13 億 6,986 万 9,000 円とするもの
論点又は審査に よって明らかにな った事項など	さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

	令和 6 年 12 月定例会
	産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 67 号 令和 6 年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第 1 回）について
概 要	今回の補正は、令和 5 年度決算が確定したことにより、歳入歳出それぞれ 41 万 9,000 円を減額し、予算総額を 6,644 万 7,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 71 号 令和 6 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、人件費の調整によるもので、歳出について、競走事業費を 83 万円減額し、予備費を同額増額するもの。歳出総額は 269 億 9,000 万 4,000 円のまま変動はない。
論点又は審査によって明らかになった事項など	さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 72 号 令和 6 年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算 (第 1 回) について
概 要	今回の補正は、人事異動に伴う人件費の調整によるもので、収益 的支出について、344 万 1,000 円減額し、支出総額を 19 億 4,695 万 8,000 円とし、資本的支出について、171 万 1,000 円増額し、支 出総額を 23 億 9,844 万 1,000 円とするもの
論点又は審査に よって明らかに なった事項など	時間外勤務手当の増額は、災害対応や年度末の工事の精算設計書 の作成等によるもの
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 76 号 財産の無償譲渡について
概 要	国土交通省所管の国有財産の財産管理を行う山口県が令和 4 年 度から海岸法に基づく公共護岸として郡津布田海岸を整備するに 当たり、整備区域内の土地は工事開始までに国土交通省に無償譲 渡することが条件となっているため、地方自治法第 96 条第 1 項第 6 号の規定により、議会の議決を求めるもの
論点又は審査に よって明らかに なった事項など	土地を無償譲渡することにより、郡津布田海岸の護岸の維持管理 は山口県が行う。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

令和6年12月定例会

産業建設常任委員会

議案件名	議案第81号 令和6年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第3回)について
概要	今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の調整によるものであり、歳出について、競走事業費115万9,000円を増額し、予備費を同額減額するもの。歳出総額は269億9,000万4,000円のまま変動はない。
論点又は審査によって明らかになった事項など	さしたる質疑なし
討論	討論なし
結果	全員賛成で可決

議案件名	議案第82号 令和6年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算(第2回)について
概要	今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の調整によるもので、収益的支出について、258万9,000円増額し、支出総額を19億4,954万7,000円とし、資本的支出について、187万6,000円増額し、支出総額を24億31万7,000円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	さしたる質疑なし
討論	討論なし
結果	全員賛成で可決

■委員長報告概要■

		令和6年12月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議案件名	議案第66号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第5回）について	
概要	<p>今回の補正は、人事異動等に伴う人件費の調整、歳計剰余金処分による基金の積立て、国県支出金の精算に伴う償還金等取り急ぎ措置すべき案件についての補正であり、歳入歳出それぞれ6億7,278万2,000円を追加し、予算総額を344億2,953万6,000円とするもの</p>	
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳入】</p> <p>○1款 市税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目個人や2目法人など、計1億8,000万円の増額 <p>【歳出】</p> <p>○人件費全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計全体で1億1,759万9,000円の増額 人事異動に伴う決算を見込んだ調整によるもの 今年度子供が生まれた職員による育児休業取得率は100% <p>○10款 教育費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5項1目社会教育総務費 11万2,000円の増額 山下記念館の建物解体工事完了に伴う事後調査で判明した家屋損傷に伴う補償を行うもの <p>(主な質疑)</p> <p>* 「「山下記念館建物解体工事完了に伴う事後調査で判明した家屋損傷に伴う補償」とは、山下記念館の中でのことなのか、それとも周辺に何か迷惑をかけたのか」との質問に「山下記念館を解体する前に周辺家屋の調査を実施した3世帯のうち、山下記念館を解体した後に家屋のひび割れが少しひどくなった1世帯に対して補償が必要と判断されたため、このたびの補正になった」との答弁</p>	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

議 案 件 名	議案第77号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）について
概 要	今回の補正は、山陽小野田市職員給与条例等の改正に伴う人件費等の調整による補正であり、歳入歳出それぞれ2億1,568万3,000円を追加し、予算総額を346億4,521万9,000円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳入】</p> <p>○15 款 国庫支出金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 項 2 目 民生費国庫補助金 17 万 1,000 円の増額 <p>○16 款 県支出金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 項 2 目 民生費県補助金 8 万 6,000 円の増額 <p>○21 款 諸収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 項 3 目 雑入 11 万 5,000 円の増額 いづれも特定財源からの充当 <p>○19 款 繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 項 1 目 財政調整基金繰入金 2 億 1,531 万 1,000 円の増額 <p>【歳出】</p> <p>○人件費全般 1 億 9,732 万 5,000 円の増額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 節 報酬 3,792 万 8,000 円の増額 パートタイム会計年度任用職員の給料改定分 ・ 2 節 給料 7,885 万円の増額 正規職員等の給料改定分 ・ 3 節 職員手当等 6,972 万 4,000 円の増額 賞与等の改定分 ・ 4 節 共済費 1,032 万 7,000 円の増額 給料改定に伴う保険料事業主負担分 ・ 議員期末手当 49 万 6,000 円の増額 <p>(主な質疑)</p> <p>＊「財政調整基金繰入金が約 2 億 1,500 万円使われることで、残高は幾らになるのか」との質問に「32 億 9,403 万 8,000 円となる」との答弁。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	承認第5号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第4回）に関する専決処分について
概 要	今回の補正は、令和6年10月27日に執行されることとなった第50回衆議院議員総選挙の経費に加え、同期日に行われる第26回最高裁判所裁判官国民審査の経費について、早急な予算措置が必要となったため、令和6年10月1日に専決処分を行ったもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳出】</p> <p>○ 2 款 総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 項 4 目 衆議院議員選挙費 4,569万9,000円の増額 <p>なお、選挙は、期日前投票所としてサンパークを、当日の投票所として自治会館等を借りて行われた。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で承認